

発行 医療法人真正会 埼玉県川越市安比奈新田283-1
ホームページアドレス <http://www.kasumi-gr.com/>
メールアドレス info@kasumi-gr.com

設立理念 老人にも明日がある



目次

- 理事長 巻頭の言葉
- 40周年記念事業
- 真正会スタッフブログ
- 行事報告：夕涼み会
- 秋のイベント予定
- 外来週間担当医表
- そもそもの話②
- サークル活動紹介③④
- タクティール®ケア
- ボランティア活動報告
- 辞令交付の風景



幸子 バーンズさん

アラン ベスターさん

ジョン トゥース先生

『巻頭言』

海外研修、まさかこれほど長く続くとは…
これが率直な感想です。

初めての海外視察は1992年、現在私が会長を務めている全国組織、老人の専門医療を考える会が企画した高齢者ケアの視察ツアーで、オーストラリアの主要都市であるシドニー、メルボルン、ゴールドコースト等を10日間以上もかけて周るかなり贅沢な旅行でした。オーストラリアの高齢者医療・福祉制度のレクチャー、施設や病院の見学は10ヶ所近く、そして現地の専門家たちとのディスカッションは今でも鮮明に記憶しています。国や制度が違っても大事なことは変わらない、「ケア」の意味を確認できた貴重な体験でした。また、地域で活躍されている熱い先生方との10日間はとても刺激的で、夜遅くまで日本の将来を真剣に語り合ったことや、若輩の私に多くの助言をいただいたこと、まさに私の高齢者ケアの原点となる海外研修でした。このような経験をスタッフたちにも…と思い、10年以上前から法人独自の海外研修を企画し毎年実施しています。

オーストラリアが中心ですが、最近ではデンマーク・スウェーデンやカナダなどの高齢者ケア先進国にも…すでに200名以上のスタッフが参加しています。研修の成果はスタッフ個人はもちろんですが、私たちグループにとっても様々な取り組みにつながっています。最もわかりやすいのが真寿会のグループホーム「アダーズあいな」です。オーストラリア、タスマニア州の州都ホバートにあるADARDS ナーシングホームは、動ける問題行動のある認知症の方だけが入れるホームです。そのハードの絶妙な工夫やプロフェッショナルとしての自覚と実力を持ったスタッフの姿は、この施設の起案者 ジョン トゥース先生の分身とも言える素晴らしい施設です。私たちのアダーズも負けないように頑張りたいですね。真正会の中でも南病院のハードやSKIP トレーニングセンター、中央クリニックの改修など、様々な取り組みが海外研修から生まれています。特に参加したスタッフたちの何にも変え難い体験こそ、最も嬉しい成果物と言えるでしょう。

平成24年9月
医療法人 真正会 理事長 齊藤正身

40周年記念事業 オーストラリア・ウィーク

昭和 47 年に霞ヶ関中央病院がスタートし、医療法人真正会は今年で 40 年になります。その記念の年に、1 年間かけて法人の歴史に深く関係する方々をお招きして、様々な機会を設けています。

法人のこれまでを振り返り、大切にしてきた事を伝えたい。

今は当たり前に行っている事は、なぜそうなのかを知る。レクチャーを聞く。ディスカッションや交流会に参加する。講師の人生に触れる。そして考える。機会がある度に耳にする「立派な大人になる」という言葉には、スタッフ一人ひとりが成長し、未来に繋がるような 1 年になればとの思いが込められています。

今回は、その第一回の模様をお伝えします。



5 月 21 日～28 日、遠くオーストラリアからお客様をお招きしました。

アダーズナーシングホームを作られた John Tooth (ジョン トゥース:精神科医) 先生、元施設長の Allan Bester (アラン ベスター:看護師) さん、そして Cary Lewincamp (ケアリー ルインキャンプ:ギタリスト) さんの 3 名です。

アダーズナーシングホームは、「動ける問題行動のある認知症」のある人に特化した施設で、「問題行動が改善すれば元の場所にお返しする」というコンセプトで始まった施設で、当法人の海外研修で多くのスタッフがお世話になりました。

レクチャーとディスカッションでは、海外研修経験者だけでなく、多くのスタッフが一緒に認知症について再確認し、認知症のある人へのケアを通して様々な事を学びました。また、トゥース先生のこれまでの歩みに斉藤理事長が迫るインタビューは、それぞれの立場で考える事の多い機会となりました。



最後にもう一人。大切な人をご紹介します。タスマニア州在住の幸子 バーンズさん。3 名のゲストの通訳として同行してくださいました。海外の医療・福祉事情に詳しく、これまでも海外研修で、たくさんのスタッフがお世話になっています。実は、川越にご実家があった関係で、私たちの法人を充分に理解の上、海外の方々との橋渡しをいただいています。

見聞きした内容だけでなく、ゲストの皆さんの人柄からもたくさんの事を教わった素敵な 1 週間でした。



アラン ベスターさん

ジョン トゥース先生

ケアリーさんは、全ての施設で、7 弦ギターの素晴らしいメロディーを奏でてください、音楽の力を感じる事が出来ました。

法人のあちこちで、素敵なギターの音が聞こえてきたらケアリーさんの CD かもしれませんよ(^^) /



ケアリー ルインキャンプさん

「真正会スタッフブログ」始めました

皆さん、ブログってご存知ですか？

真正会では、7月から職員が交代で日々感じたことや、法人内の活動をブログにつづっています。

ブログは、ホスピタルケア部（病院部門）、コミュニティケア部（在宅部門）、事務部門、職員サークルがそれぞれあります。

まだまだ始めたばかりで、職員一同悪戦苦闘しながらも、ブログの執筆を楽しんでいます。このブログは真正会のホームページのTOPページのリンクバナーから、もしくは右のQRコードから閲覧できます。是非、ご覧ください。感想もお待ちしております。

ご感想はこちらまで info@kasumi-gr.com



ホスピタルケア部ブログ



本部・事務部ブログ



コミュニティケア部ブログ



サークルブログ

真正会 HP <http://www.kasumi-gr.com/>

行事報告：夕涼み会

8月8日に霞ヶ関南病院前駐車場にて、夕涼み会が催されました。天気にも恵まれ、とても涼やかな日に開催できました。約400人の患者さんとそのご家族、そして職員と共にとっても楽しい時間を過ごすことができました。



秋のイベント予定

お待ちかねの「地域感謝祭」が10月27日（土）に開催予定です。

真寿会と真正会の両法人が、日頃地域の皆様に支えられている感謝の気持ちを込めていろいろな形でおもてなしをさせていただきます。

当日は、真寿園でお待ちしています。

平成24年10月27日（土）12:00～15:00

※写真は去年の「地域感謝祭」の様子です。



霞ヶ関南病院 外来担当医一覧表

(平成 24 年 9 月 25 日より)

管理者:伊藤 功

		診察室	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	1	池田 弘	小峰 妙子	長澤 逸人	立川 太一 (リハビリ・脳卒中)	伊藤 功 (院長)	埼玉医大 医療センター
		2	安 佐里	伊藤 薫	池田 弘	伊藤 雅美	伊藤 薫	
	午後	1	長川 史	伊藤 薫	有山 茂和 (消化器内科)	白岩 秀隆	伊藤 薫	
生活習慣病科 (完全予約制)	午前	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
	午後	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
リウマチ科 (完全予約制)	午前	3	安倍 達	安倍 達			安倍 達	
	午後	3						
泌尿器科 (完全予約制) 午後 15:00 まで	午前	2						清水 浩一※2
	午後	2						清水 浩一※2
皮膚科	午前	皮膚科 診察室	太田 房代	太田 房代		太田 房代	太田 房代	
	午後					太田 房代		
眼 科	午前	眼科 診察室	豊田 文彦	橋本 加奈			木下 望	木下 望
	午後						木下 望	
神経内科 (完全予約制)	午前							
	午後	2				埼玉医大 国際医療センター		
整形外科・形成外科 (完全予約制)	午前		渡邊 芳子		渡邊 芳子		渡邊 芳子	
	午後	3				渡邊 芳子※3		
検 査 (完全予約制)	午前	各検査室			視野検査※4			
	午後		心工コー		視野検査※4			
在宅ケア相談外来 (完全予約制)	午前	カフアルーム A		斉藤 正身	斉藤 正身		斉藤 正身	
	午後	外来診察室	斉藤 正身	斉藤 正身	斉藤 正身			
アトピー外来	午後	(完全予約制)		太田 房代	斉藤 克子 (午前)		斉藤 克子 (隔週)	
歯 科 (完全予約制)	午前	歯科診察室	福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	
	午後		福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	

※受付時間 [午前] 8:30~11:00 [午後] 13:30~16:30 (診察開始は9:00/14:00からとなります)

※MRI検査 CT検査 超音波検査等 随時検査も行っております。

※各科、休診の場合もございます。ホームページでも休診情報をご覧ください。

URL <http://www.kasumi-gr.com/txt/kyuushin.html>

※詳しくは外来受付までお問い合わせください。(電話 049-239-7272 外来直通)

※1…土曜日の生活習慣病科は第2、4週

※2…土曜日の泌尿器科は第2、4週

※3…木曜日の整形外科/形成外科は第1、3、5週

※4…水曜日の午前の視野検査は第1、2、4週、午後の視野検査は第3週

シリーズ「そもそもものはなし」その2：行事について

「行事」のそもそもをご紹介します。

当法人では、年間を通して様々な行事を行っています。餅つき、バイキング、夕涼み花火大会、敬老を共に祝う会、地域感謝祭、誕生日やクリスマス 等々、法人全体で取り組む大きな行事から各病棟や事業所で行われる小さな行事まで、今では毎年恒例のイベントとなりましたが、きっかけは20年以上前に遡ります。

「〇〇さん、おはようございます。起きませんか？」と、スタッフから入院患者さんへの問いかけに、「起きたって何もする事がないや」と言葉が返ってくる出来事がありました。お返事に驚くと共に、スタッフ皆で悩みました。

何とかして「ベッドから起きたい」と思ってもらいたい、という願いで知恵を絞った事を思い出します。

単調にも感じられる入院生活の中で、楽しみや季節感を感じていただく事やベッドを離れるきっかけにならないか？等、個々の患者さんに向けた思いは色々ありました。

繰り返される日常のなかに、非日常的な「行事」という場を用意する事で、季節を感じたり交流や社会が生まれたり、癒されたり、目標になったり、という変化が生まれました。

「家族と一緒に食事を楽しみたい」

「30分座っていられたら、芝居が最後まで見られる」

「来月の行事は、車椅子から椅子に移って参加しよう」

「行事の時に歩いて行って、みんなを驚かそう」

行事の時にどう過ごすか、その時まで何をするかを考える事が日々の練習やケアの目標にもなっていました。また、見るだけの受け身でなく、参加する形のイベントへと発展もしていきました。

大切なのは、参加される方はもちろん、スタッフも一緒に楽しむ事。ユニフォームを脱いで、私服で一緒に楽しむ事にしています。そばに寄り添って、一緒に飲んだり、食べたり、会話やイベントを楽しむ。。いろいろな思いや意味を込めて、これからも楽しめる「行事」を続けていきたいと思えます。(^^)/

シリーズ「サークル活動紹介」その3：写真サークル「SNAP」

写真サークル「SNAP」は、法人の中の写真好き、写真に興味がある人が集まり、地元の川越を中心とした撮影会、そして撮影会の度に川越のグルメを楽しむといった活動をしています。

川越は、うなぎ、さつま芋、韓国料理 etc など美味しいものがたくさんありますよね。写真よりも川越グルメに詳しくなっている今日この頃です…

最近では、真寿園にある真寿窯で陶芸をやってみたり、水彩画を理事長から教えていただいたりと、芸術面の幅を広げています。

シリーズ「サークル活動紹介」その4 野球サークル「真正会野球部」

みなさん真正会野球部です。総勢18名、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、事務といった多くの職種のメンバーがそろっています。最近では、川越市商工会議所主催の職場対抗戦に参加しました。

この大会では選手宣誓の大役。そして初戦は、昨年の準優勝チームという大会でした。開会式は5月20日に終了。試合は7月29日(日)初雁球場にて行いました。結果は、3対13で初戦敗退となりました。対戦相手のチームのみなさま、野球連盟のみなさま、川越市商工会議所のみなさま、応援に来て頂いたみなさま、暑い中ありがとうございました。

昨年度は「福祉用具フォトコンテスト」というコンテストに皆で応募しました。初参加だったのですが、デイリハセンターの村松峻介くんがなんと特選に選ばれました。

こちらがその作品です。



撮影・村松峻介・タイトル「オフロサイコー♪」



タクティール®ケア研修始まりました

タクティール®ケアってご存知ですか？

一般的にはタッチケア（触れるケア）と言った方がわかりやすいでしょうか。スウェーデンの看護師達が未熟児に行ったタッチケアが発祥とされています。



実は人間は、無意識のうちに肌に手を触れている行為が多いんです。例えば、子供が転んだりするとお母さんが「痛い痛い飛んでけ〜」とさする、苦しいと言われると背中をさする、など日常の中で頻繁に行われている行為です。

タッチケアは、マッサージとは違い力を入れずゆっくり触れることにより「オキシトシン」という癒しのホルモンが分泌され、安心感や心地良さへと変わります。

そのタッチケアの理論と技術を習得し、タクティール®ケアを両法人に導入するために第1回目の研修会を実施しました。今後、入所・入院の方に限らず地域の方にも体験していただけるように考えています。まずは、10月27日の地域感謝祭で体験コーナーをご用意します。是非、癒されてください。

← 講師の先生を囲んで

「タクティール®ケアIコース 修了者」 15名

震災支援ボランティア活動の報告

当法人では、現在もボランティア活動を継続しています。

加須市の旧騎西高校では、埼玉県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、そして当法人のスタッフが毎週火・木曜日の午後、土曜日の午前中に活動していますが、現在も福島県双葉町の方、210名以上が避難生活を続けています。

また、福島県内にある仮設住宅へも、隔週の水・木曜日に巡回支援を行なっています。（7月からそれまでに巡回支援活動をしていた福島市2ヶ所にもう1ヶ所と会津若松市1ヶ所が増えました。）今後ともボランティア活動へのみなさんのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

辞令交付の風景

8月1日に4月2日入職者21名の本採用辞令交付がありました。

職員の内訳は、看護師2名、介護福祉士1名、ケアワーカー3名、理学療法士5名、作業療法士5名、言語聴覚士3名、レクリエーションワーカー1名、医療福祉相談員1名で、4月から3ヶ月間の楽しくも辛い？研修期間を経て、めでたく本採用の辞令ということになりました。

理事長から辞令を手渡される新人一人ひとりの表情は、緊張しながらもとても良い表情をしているのが印象的でした。

さあこれからが本番です。今の気持ちを忘れずに、よりよい法人作りのために私達と一緒に頑張ってください。



【編集後記】

ようやく秋の気配を感じてきました。季節の変わり目は体調が変化しやすいので、注意してお過ごしください。